

教科用図書調査・研究の観点等について  
社会（歴史的分野）

令和3年8月5日（木）

教科用図書の調査・研究の観点等について【社会（歴史的分野）】

社会科の 目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 学習課題の示し方</p> <p>② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <p>③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p>	<p>○ 1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例</p> <p>○ 文化遺産の示し方、神話・伝承等に関する記載内容</p> <p>○ 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数と内容</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 単元の導入における工夫</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p>	<p>○ 各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫の具体例</p> <p>○ 「身近な地域の歴史」で示している調べる手順・方法及び記載の仕方</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元や資料等の配列・分量</p> <p>⑦ 主権者育成のための工夫</p>	<p>○ 各時代区分のページ数</p> <p>○ 古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がり記載内容</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>⑨ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p>	<p>○ 資料の種類及び掲載数、掲載の仕方</p> <p>○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等</p>
言語活動の充 実	<p>⑩ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p>	<p>○ 単元末における「時代の特色」をまとめる学習の具体例</p>